

平成21年度 第6回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成22年3月23日（火）午後2時～3時20分
- 2 **開催場所** 中央図書館 視聴覚室
- 3 **出席者**
 - (委員)
舟田委員長、杉山副委員長、小池委員、羽藤委員、井上委員、工藤真由美委員
 - (事務局)
教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習部副参事（運動公園施設整備担当）、視聴覚ライブラリー館長、青少年センター所長、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長、中央公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習課課長補佐、同生涯学習係

4 議 題

- (1) 前回会議内容の確認
- (2) 協議事項
 - 1) 社会教育関係団体の認定について（2件）
- (3) 報告事項
 - 1) 平成21年度「春休み子ども体験広場」（学校・地域連携事業）の開催について
 - 2) 平成21年度「浦安市芸術鑑賞教室」開催結果について
 - 3) 市民手工芸作品展開催結果について
 - 4) 平成21年度旧濱野医院文化事業 写真展の開催について
 - 5) 第19回東京ベイ浦安シティマラソンの報告について
 - 6) 春との出会い 花見ウォーク2010の開催について
- (4) その他
 - 1) 仮称高洲地区公民館複合施設の愛称募集について
 - 2) 次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

- (1) 前回会議内容の確認
平成21年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認し、了承された。
- (2) 協議事項
 - 1) 社会教育関係団体の認定について（2件）
生涯学習課生涯学習係長より概要を説明し、「浦安子どもミュージカル」「茶道に親しむ会」の認定を承認した。
委員からの質問及び意見は、次のとおり。
浦安子どもミュージカル
(質問) 21年度決算のうち、事務費・会議費の内訳が不明である。また、活動報告書には会議を開いた記録がない。衣装管理費はクリーニング代に当たるのか。22年度の会場使用料の単価が上がっているが、会場の変更を予定しているのか。助成金はどこから受けているのか。

- (回答) 会議費については、活動報告には個々の会議までは記載しないことが多い。運営にかかる会議は開いているものと思うので、その際の資料印刷などの経費ではないかと思われる。その他の事項については詳しく聞いていないので、確認をする。
- (意見) 支出の内訳は主なものだけでも書いてほしい。認定を受けると、会場使用料が減額されるので、その分親の負担を減らすようにしてほしい。
- (質問) 団員名簿を見ると、第1期生が一番多く、その後は徐々に減っているようである。どういう形で募集し、活動に参加させているのか。先細りで存続していかなくなるような心配はないのか。
- (回答) 公演が終わるごとに団員の募集をしている他、ミニコミ紙への掲載などで募集をしているとのことである。
- (意見) 子どもの集まりにとしては、会費や入会金が高額であり、保護者の負担が大きい。民間にもこうした劇団などがあり、社会教育団体として検討すること自体がしっくり来ないように感じる。
- (質問) 事務局の考えはどうか。
- (回答) 認定を受けた場合には、会場使用料が減額される分、保護者の負担を減らし、会員を増やすようにしてほしいと考えている。
- (意見) 具体的には言葉にしづらいが、認定団体として認められると感じられない部分はある。
- (質問) 会費の額などに関する基準はあるか。
- (回答) 認定のガイドラインとして基準を設けている。
- (質問) 基準から見ると高額である。基準を超えている団体は他にもあるのか。
- (回答) 認定団体の活動状況の調査結果では、基準を超えている団体はある。それに対する認定の取消は、現状では行っていない。
- (意見) 入会金については基準の倍である。誰でも参加できるという点から見て、どうか。
- (意見) 金銭的な負担や広告の募集など、保護者の多大なる協力と努力があることを考えると、誰でもできるというわけにはいかないと思う。誰でもどうぞと募集しても、情熱が高く、経済的にも余力のある方でないといけないところがある。
- (意見) 民間のバレエ教室などと同じではないか。このような団体の一つを認定して、どうなるだろうかという気持ちはある。
- (意見) 認定してもかまわないとは思っている。会員も市内の方がメインであり、営利目的でないことは理解できる。参加する子どもたちが健やかに伸びるチャンスがもらえるならばよいと思う。極力、保護者の負担を減らす方向でやってもらえればよいのではないか。
- (意見) こういう文化を広めるには、こうした方法しかないのかなと感じる。活動自体は悪いことではないが、いかんせん会費が高く、見方によっては劇団の利益になっているようにも思える。なるべく安くしていただくように、認定によって減額された分は保護者の負担を減らしてもらうことや、劇団への謝礼金は社会教育団体並みにしてもらえればと思う。
- (意見) 経費のかかる活動なのは否めない。認定するとしても、いろんな条件付きになるのではないか。他の団体もこのように努力をしているということを含めて、伝えてほしい。垣根を低くして誰でも入れ

るような形で活動してほしい。

(意見) こうした活動は、本物志向になるにつれ経費も高まってくるので仕方ないと思うが、なるべく会員が苦しくないような形で存続してもらえればと思う。

(意見) 費用の高さが会員の募集に影響しているように感じるので、少しでも費用を抑えてもらうようお願いしたい。

(委員長まとめ) 条件を付けて認めるというご意見が多い。決算書の内訳を記載してもらうこと、なるべく多くの会員を得るために低額なものにしてもらう、劇団にお願いして安く指導してもらう、ということ付帯条件として承認する。

茶道に親しむ会

(質問) 講師謝礼金はないのか。

(回答) 会費収入の状況から、謝礼金を出せないため、交通費として1万円を払っているということである。

(意見) 同様の活動をしている団体に準じていればよいと思う。

(質問) 認定を受けている茶道の団体はいくつあるか。

(回答) 12団体である。

(質問) 富岡公民館での活動状況はどうか。

(回答) 定期的に活動している団体である。文化祭にもお茶席を設けていただき、ご協力いただいている。

(委員長まとめ) 承認とする。

(3) 報告事項

1) 平成21年度「春休み子ども体験広場」(学校・地域連携事業)の開催について

生涯学習課生涯学習係長より説明した。また、生涯学習部長より、学校・地域連携推進事業活動補助金の廃止について報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 週休2日制が始まる際に設けられた制度を8年間継続し、今年度で終了するとのことである。続けてほしいという要望もあるのではないか。

(回答) 現在、団体への説明を順次行っているところである。今後、会場の使用などについて便宜を図ることも含め、団体と協議しながら活動の支援を行っていく。

2) 平成21年度「浦安市芸術鑑賞教室」開催結果について

生涯学習課課長補佐より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 予想外に入場者数が少なかったとあるが、これについてどうか。

(回答) 2倍程度の入場者数を見込んでいたが、思いのほか少なかった。

市内のクラシックの公演では400~500人入れればよいほうという話も聞いている。

(質問) 会場の状況としてはどうだったか。

(回答) 前列のほうは空いていたが、中段から後ろにかけては埋まっていたので、観客が入っているという感じは受けた。

(質問) 今回初めて富岡中学校の吹奏楽部が合同演奏を行ったとのことだが、今後、他の中学校との合同演奏も考えていくのか。

(回答) 音楽だけではなく、日本の伝統芸能である能や狂言など、毎年度内容を検討して開催している。昨年度は室内管弦楽で、音楽の公演

が2年続いたので、来年度は狂言を開催する予定で考えている。合同演奏については、またできるところで行いたいと考えている。

(意見) 当日参加したが、大変よい公演で、参加した子どもたちの目ごとでも輝いていた。子どもたちの新しい活動のチャンスを今後も与えてもらえればと思う。

(意見) ジャンルが変わっても、何らかの形で主体的に鑑賞できるような企画があるとよい。子どもたちが指揮を体験するなど、いろんなやり方を工夫すると面白いと思う。

(質問) 千葉県の主催でもあるのか。

(回答) 千葉県の負担金がついており、千葉県と浦安市教育委員会の主催として開催した。

3) 市民手工芸作品展開催結果について

生涯学習課課長補佐より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 開催に協力しているNPOは、他にどのような活動をしているのか。

(回答) 市内で様々な文化活動をボランティアで行っている。オリエンタルホテルにギャラリーを開設して、団体や市や個人から提供された美術品を展示したり、市との協働でボランティア活動をいくつか行っていると聞いている。

4) 平成21年度旧濱野医院文化事業 写真展の開催について

生涯学習課課長補佐より説明した。

5) 第19回東京ベイ浦安シティマラソンの報告について

市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 事故等はなかったか。

(回答) 大きな事故はなかったが、軽症のものは86件の報告があった。

(質問) どれくらい遠方から来ているのか。

(回答) 北は北海道旭川市、南は宮崎県都城市からである。

6) 春との出会い 花見ウォーク2010の開催について

市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) どの程度まで申し込みできるのか。

(回答) 事前申し込みを受けているが、ほとんどが当日受付である。昨年は200人程度の参加があった。人数制限は特に設けていない。

(質問) 参加賞はあるのか。

(回答) 協賛を受けている会社から、飲料水程度の参加賞はある。

(4) その他

1) 仮称高洲地区公民館複合施設の愛称募集について

生涯学習部長より報告した。

2) 次回会議日程について

事務局より、次回の会議予定について報告した。

以上